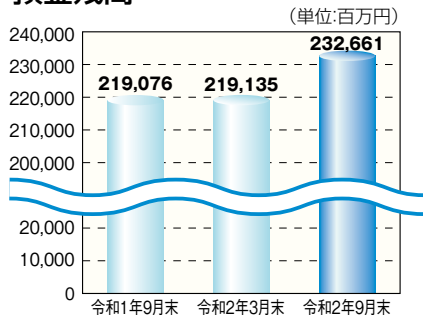
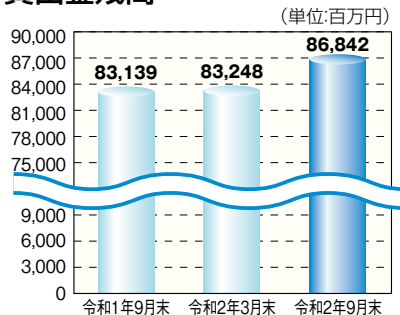


## 預金・貸出金残高の状況

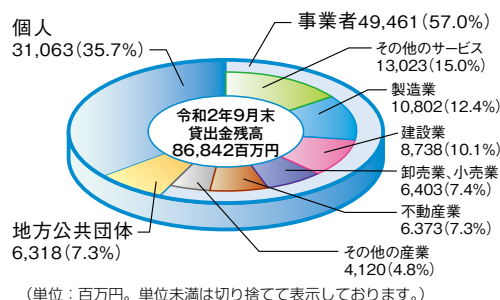
### 預金残高



### 貸出金残高



### 貸出金業種別残高・構成比

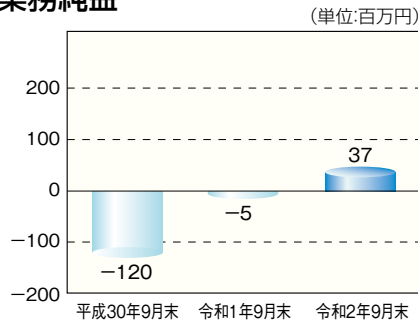


預金については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、消費を控えた個人の方々の預金が歩留まりしたことなどから、前期から大幅な増加を見せました。

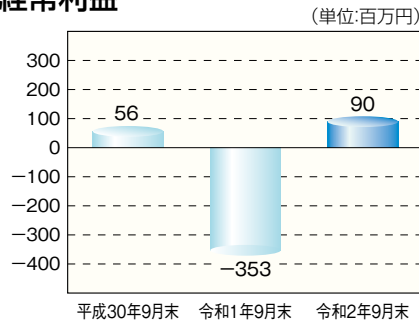
貸出金については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、売上げが減少するなどした多くの事業者さまが国の緊急経済対策資金融資を利用されたことなどから、こちらも前期から大きく増加しています。

## 損益の状況

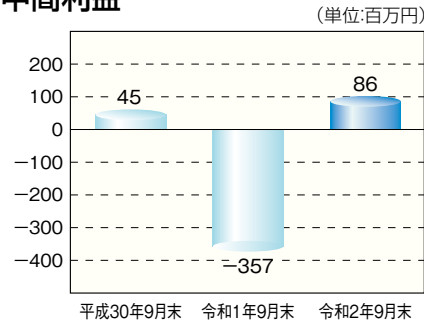
### 業務純益



### 経常利益



### 中間利益



(注)中間利益は当期純利益を表します。

業務純益とは、本業での収益力を表す指標です。

令和2年度上半期においては、店舗の見直し、物件費削減をはじめとした構造改革を進めたことにより経費を大きく減らせたことなどから、3期ぶりに利益を計上することができました。

経常利益および中間利益については、昨年度は与信費用を積み増したことから赤字決算となりましたが、今年度は経費削減に加えて本業での収益が確保できたことや、株式等売却益を計上したことなどから、大幅に改善して黒字となりました。

## 有価証券の状況

(単位:百万円)

項目	令和2年3月末 評価損益	令和2年9月末			前期末比 評価損益
		取得価額	時価	評価損益	
満期保有目的の債券	149	2,636	2,772	135	△13
その他有価証券	338	59,199	59,793	593	255
株式	△349	1,363	1,048	△315	34
債券	874	49,323	50,110	786	△87
その他	△186	8,512	8,634	122	308
子会社・関連会社株式	—	10	10	—	—
合計	488	61,845	62,575	729	241

(注1)「その他」は外国証券と投資信託等です。

(注2)有価証券の「時価」は、上場有価証券については決算日時価、非上場有価証券については価格等の算定が可能なものは時価相当額(公募債券については証券業協会が公表する売買参考統計値等、私募債券については証券会社等が算定する評価額等、投資信託受益権については基準価額)、その他のものは帳簿価額です。

(注3)単位未満は切り捨てて表示しております。

(注4)金銭の信託、デリバティブ商品の取扱いはありません。